



九州7県の観光素材を、優れた視点で紹介した新聞・雑誌・テレビ番組を表彰！

「第3回 九州魅力発掘大賞」発表

JR九州では、主に九州外の大都市圏を中心に、九州7県の観光素材を優れた視点で紹介した新聞、雑誌、テレビ番組等の媒体を「九州魅力発掘大賞」として表彰しております。この度、2017年中に取り上げられた記事、番組を対象とした「第3回 九州魅力発掘大賞」が決定しました。

1 実施主体

主 催：九州旅客鉄道株式会社

特別協賛：一般社団法人 九州観光推進機構

協 賛：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、
日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社JTB

後 援：国土交通省九州運輸局



2 審査方法

2017年中に、主に九州外の大都市圏（東京・名古屋・大阪）で九州7県の観光を取り上げた記事やTV番組等の中から、「①露出量、②コンセプト、③話題性、④実際の来訪意欲喚起」を基準に審査委員が審査を行い、表彰媒体を選定しました。

3 受賞媒体・人物（受賞媒体概要と推薦コメントは「別紙」をご参照ください。）

賞		受賞作品
九州魅力発掘大賞		サライ6月号 『『天主堂』光と祈りの旅』 (2017年5月10日発行)
部門賞	雑誌部門	Discover Japan 6月号 「柴咲コウ、嬉野の茶師・松尾俊一に会いにゆく。」 (2017年5月6日発行)
	新聞部門	読売新聞 日曜版「名言巡礼」(九州を取り上げた9回分) (2017年2月5日～11月5日掲載)
	映像部門	NHK総合テレビ 「LIFE!～人生に捧げるコント～(熊本スペシャル)」 (2017年12月19日放送)
特別賞		長濱ねる様－代表作：講談社 写真集「ここから」－ (2017年12月19日発行)

4 選考媒体数 210点（雑誌130点、新聞40点、映像40点）

5 その他

「九州魅力発掘大賞」は、前身の「南九州PR大賞」より数えて11回目を迎えました。

【参考】第3回 九州魅力発掘大賞 審査委員名簿

役 職	企業・団体名及び役職	氏 名
委員長	九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長	あおやぎ としひこ 青柳 俊彦
副委員長	九州運輸局 観光部長	うつのみや ひろふみ 宇都宮 博文
委 員	福岡市女性センター アミカス 理事	いしむら かずえ 石村 一枝
委 員	全日本空輸株式会社 上席執行役員九州支社長	おおひとがた つなくに 大人形 綱邦
委 員	株式会社 J T B 執行役員 九州広域代表	かつらはら こういち 桂原 耕一
委 員	鹿児島県 P R ・ 観光戦略部長	かわの としひこ 川野 敏彦
委 員	九州市民大学 常任理事	かんざき くにと 神崎 邦子
委 員	エッセイスト	さいとう ゆか 斎藤 由香
委 員	宮崎県 商工観光労働部 観光経済交流局長	さこう しげひさ 酒匂 重久
委 員	ジャーナリスト	しまだ はじめ 島田 始
委 員	佐賀県 地域交流部 文化・スポーツ交流局長	しらい まこと 白井 誠
委 員	福岡県 商工部 観光局長	たかはら みのる 高原 稔
委 員	日本旅行作家協会会員	たに ひろし 谷 浩志
委 員	日本ガス株式会社 代表取締役社長	つまがり さだとし 津曲 貞利
委 員	長崎県 文化観光国際部長	なかざき けんじ 中崎 謙司
委 員	熊本県 商工観光労働部 観光経済交流局長	はらやま あきひろ 原山 明博
委 員	日本航空株式会社 九州・山口地区支配人	みぞのうえ まさみつ 溝之上 正充
委 員	株式会社ドーンデザイン研究所 代表	みとおか えいじ 水戸岡 鋭治
委 員	大分県 企画振興部 観光・地域局長	やまもと しゅうじ 山本 修司
委 員	九州観光推進機構 専務理事事業本部長	わたなべ ふとし 渡邊 太志

【敬称略、委員は50音順で記載】

「第3回 九州魅力発掘大賞」受賞媒体と推薦コメント


■ 九州魅力発掘大賞

媒体名	小学館 サライ 6月号		
タイトル	『『天主堂』光と祈りの旅』		
発行日	2017年5月10日発行	対象エリア	長崎・熊本
(推薦コメント抜粋)			
<p>「今年、世界遺産登録が期待される潜伏キリシタンの教会建築とそのバックストーリーを、情緒あふれる写真を織り込みながら、豊富なページで贅沢に紹介。外海の遠藤周作記念館や、教会建築の父 鉄川与助といった周辺情報もふんだんに取りこみ、保存的特集になっている。五島・天草の観光情報も、必要にして十分で、読み応えが抜群。」</p>			
<p>「大判の雑誌故の写真の美しさもさることながら、記事の質・ボリュームともに他を圧倒するものだった。様々な旅の形態の中で、人間としての「鎮魂の旅」という在り方に、ある種の新鮮さを覚えた。」</p>			
<p>「雑誌のスケールを超えて、構成力・編集力で1冊の単行本を読んでいるような感動を覚えた。日本の文化を学び、九州を訪れたいくなる。」</p>			
<p>「『受難と復活のキリシタン文化 400年』のタイトル通り、ページすべてに編集部が熱意と迫力を感じた。キリシタンの歴史・文学・教会建築・隠れキリシタン信仰などがわかりやすく記されていて、ぜひゆっくり行ってみたいと思った。」</p>			
<p>「歴史的事実と美しい風景写真。おいしそうな食べ物に宿。雑誌ならではの展開で、まさに、『行ってみたいくなる』編集だ！」</p>			
<p>「天主堂を扱った記事のなかでもずばぬけている秀作。写真も素晴らしい。」</p>			
<p>「施設の表面的な紹介だけではなく、歴史などの背景を詳細に説明しており、内なる魅力まで余すところなく掲載されている。また、施設紹介以外にも、「食」や「体験」など、現地での旅の楽しみも掲載することで、実際に現地に行きたい内容となっている。」</p>			
			

■ 部門賞（雑誌部門）

媒体名	榎出版社 Discover Japan 6月号		
タイトル	「柴咲コウ、嬉野の茶師・松尾俊一に会いにゆく。」		
発行日	2017年5月6日発行	対象エリア	佐賀
（推薦コメント抜粋）			
<p>「日本茶のルーツ、嬉野の美しい風景と若者たちによる、新しい日本茶への取り組みを紹介。著名人のナビゲートにより、追体験したくなる。」</p> <p>「メディアでよく取り上げている有名な観光地ではなく、日本の伝統文化である日本茶に注目し、『九州の日本茶はここにある』という発信が良いと思う。」</p> <p>「温泉地や観光地としての嬉野ではなく、『お茶』というテーマから、そのルーツや新しい取り組みを、紙面でボリュームを割いて紹介している点が良いと感じた。また、当時大河ドラマで主演中の女優 柴咲コウさんの起用も話題性として良かった。」</p>			
			

■ 部門賞（新聞部門）

媒体名	読売新聞		
タイトル	日曜版「名言巡礼」		
掲載日	2017年 2月5日、2月26日、4月9日、4月16日、8月6日、8月13日、9月3日、10月8日、11月5日 9回掲載	対象エリア	福岡、長崎、大分、熊本、鹿児島
（推薦コメント抜粋）			
<p>「とても勉強になった。なにげなく旅していた所が、こんなにも魅力的な人たちを育てていたのかと、この企画は学ぶことがとても多く、思わずメモを取ってしまった。」</p> <p>「視点が極めてユニーク。一般的には知られていない人物にまで幅広くスポットを当てており、非常にバランスが良い。現在と当時を重ね合わせ、歴史を感じさせるとともに、その名言の背景を詳しく知ることによって親近感を覚える。」</p> <p>「『名言』を軸に、その作者の育ち、あるいは活躍した土地を興味深くまとめた好企画。この記事を読んで感じた言葉をかみしめて、旅に出たくなった。」</p> <p>「人の言葉を通じて、その土地、歴史に触れる。読んでいて、その人を思い、すがすがしい気分になる記事だった。」</p>			
			

■ 部門賞（映像部門）

媒体名	NHK総合テレビ		
タイトル	「LIFE!～人生に捧げるコント～（熊本スペシャル）」		
放送日	2017年12月19日放送	対象エリア	熊本
(推薦コメント抜粋)			
<p>「番組からみえる、熊本の人たちの最高の笑顔によるこびを感じられた。すばらしい！」</p> <p>「内村光良と高良健吾等によるコメントに、熊本の観光地がふんだんに取り入れられており、観光地の名前が印象に残りやすく、スタッフの地域愛が強く伝わるものだった。」</p> <p>「通常の旅番組とは全く異なる視点で、熊本の魅力をコント仕立てで極めてユニークに発信。内村光良や高良健吾といった地元出身者の方言でコントに異彩を放たせるとともに、地元への郷愁を誘い、行ってみたい気持ちにさせる。」</p>			

■ 特別賞

受賞名	長濱ねる 様 ー代表作：講談社 写真集「ここから」ー		
(プロフィール)			
<p>長濱ねる（ながはま・ねる）1998年9月4日生まれ。O型。</p> <p>長崎県長崎市出身。3歳から7歳まで五島列島（新上五島町奈良尾）で育つ。</p> <p>欅坂46のメンバーで、2015年デビュー。</p> <p>欅坂46でもNo.1のアイドル性を持つメンバーと称されている。</p> <p>島育ちらしいおおらかさと、高校生クイズ長崎県大会決勝に進出したこともある知性が魅力。</p>			
(選定理由)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年12月発売、初のソロ写真集『ここから』（講談社）は、長崎県オールロケにて刊行。発売初週に9.8万部を売り上げ、女性ソロ写真集の週間売上部数で歴代2位となった。ロケ地である長崎県に多くの注目を集めた。 ・ 今年2月、長崎ランタンフェスティバルのメインイベント“皇帝パレード”に皇后役で出演し、長崎市観光大使への就任を発表。大きな話題を呼んだ。 			
